

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 4 区分

【発行日】平成 28 年 4 月 14 日 (2016.4.14)

【公表番号】特表 2015-513615 (P2015-513615A)

【公表日】平成 27 年 5 月 14 日 (2015.5.14)

【年通号数】公開・登録公報 2015-032

【出願番号】特願 2014-560305 (P2014-560305)

【国際特許分類】

C 2 5 B 1/00 (2006.01)

C 2 5 B 9/18 (2006.01)

C 2 5 B 15/02 (2006.01)

C 0 1 B 31/18 (2006.01)

【F I】

C 2 5 B 1/00 Z

C 2 5 B 9/18

C 2 5 B 15/02 3 0 2

C 0 1 B 31/18 B

C 0 1 B 31/18 A

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 2 月 25 日 (2016.2.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 4】

図 4 に示すような本発明のさらなる実施形態では、電圧及び電流の個別の制御は、C O 2 から C O への転化の最終段階にのみ適用される。その際、バルクの C O 2 転化は、全てのセルが同じ電流で運転される慣用的なスタック中で行われる。これにより、例えば、全てのセルで共通の電流でゆっくりと稼働する慣用的なスタックでは、1 0 0 % C O 2 の流れを、1 5 % の C O 2 及び 8 5 % の C O に転化することができた。第二段階（典型的には、より少ないセル及び高い流れを含む）において、異なるセル又はセルのグループについて電流が個別に制御されるスタック中で、その 1 5 % の C O 2 及び 8 5 % の C O は、高純度の C O、例えば、9 9 . 7 % の C O、及び 0 . 3 % の C O 2 に転化される。バルクの C O 2 転化のための比較的安価で慣用的な S O E C スタックを、そして小規模な転化のための比較的高価な電圧及び電流の個別制御 S O E C スタックを提供するために、この実施形態は費用効率が低い。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 8 0】

試験 1 は、均一な圧力で運転され、そして酸素側のフラッシングに空気が使用されるスタックの不純物（N 2 及び O 2）を示している。